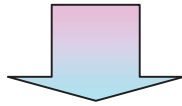


5 合流改善の課題のまとめ

- 合流式下水道の改善対策について、都や国が参加した委員会が設定した目標を達成するための対策を進める必要がある。
- 改正下水道法施行令で新たに定められた「雨天時放流水質基準」に対応するために、既存施設を活用した貯留池の整備などの対策を早期に進めていく必要がある。
- 善福寺川流域、江東内部河川流域、芝浦地区では、水辺利用が活発で、雨天時の水質改善要望が強いため、対策を進める必要がある。
- これまでのクイックプランで効果が認められた吐口対策や計画的な清掃などを引き続き実施し、お客さまの合流式下水道の改善要望に応えていく必要がある。



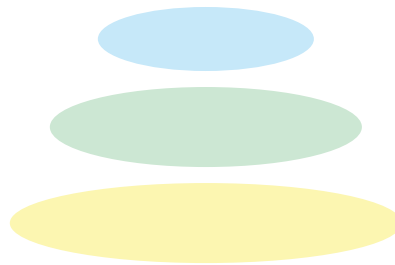
新・合流改善クイックプラン

これらの課題の解決を目指して、新クイックプランで緊急的な対策を実施

- 重点的に対策を実施するモデル地区でお客さまの要望に応える、目に見える水質改善効果を発現
- 油やごみなどを「下水道に入れない」「下水道にためない」「下水道から出さない」基本方針に基づいて、効果の大きい対策や新たな取組みを実施



- 河川や海に流出するごみの量を大幅に削減
- オイルボールの漂着日数の減少



合流改善の目標

- 合流式下水道から放流される総汚濁負荷量を、分流式下水道と同程度まで削減
- オイルボールやごみの河川や海への流出を防止